

大岡の風 10月



令和5年9月29日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

「自ら考え、判断する力」を育む

校長 馬渡 照代

今年は、関東大震災の発生から100年という、節目の年に当たります。神奈川県西部を震源地とするマグニチュード7.9の巨大地震であり、東京や神奈川を中心に未曾有の被害をもたらした、我が国の災害史において特筆すべき災害です。この「関東大震災」が起きた9月1日は、国や国民が広く「台風・高潮・津波・地震」などの災害について意識を高めて災害に備える準備をする」ために、「防災の日」と定められました。

そのため、この日を基本に、9月には全国各地で大規模な総合防災訓練が行われています。本大岡地区でも総合防災訓練が行われ、暑い中でしたが多くの方が参加されて、熱心に訓練に臨んでいました。こういう訓練がいざというときに大変役立つことであり、子どもたちも多く参加して、煙体験や消火訓練に一生懸命取り組んでいました。

本校でも、月に1回避難訓練を実施しています。大岡っ子は、いつも真剣に取り組んでいます。私は、講話で「災害は、いつ起こるか分かりません。そして、大人がすぐ側にいつもいられるとは限りません。自分自身の冷静な判断と素早い行動こそが、皆さんの命を守ります。そのためにも今日のような訓練を無駄にせず真剣に行うこと、それこそが、いざというときのための日頃の備えとなり、自分の身を守ることにもなるのです。」と話しています。ご家庭でも、避難場所やいざというときの連絡方法などを、ぜひ子どもたちとご確認ください。

話は変わりますが、本校の子どもたちは、いろいろな場面で巧みにタブレットを使いこなすことができます。調べ学習に活用したり資料を作ってプレゼンしたりするなどは、当たり前で、タブレットとテレビ画面を使って、瞬時に意見や考えを共有することもできています。

このように、これからの世の中、子どもたちが生きていく上で情報活用能力を高めていくことは、とても大切なこととなります。

そこで、学校だけでなく家庭学習でもタブレットを活用してもらおうと、9月から「タブレットの持ち帰り」を始めました。方法としては、既にお示したように、各学年、決められた曜日に持ち帰り、アプリを活用して学習を進めていきます。まずは、5・6年生が、9月の中頃に先行して始めました。この取り組みで大切にしなければならないことは、タブレットはもちろん、パソコン、スマホなどの情報機器をいかにルールを守って正しく効果的に使うか、そして、何を大切にどのような使い方をしていくのか、ということです。それだけではなく、これらのことを子どもたち自身で考え、判断できる力を付ける、ということが、もう一つの目的でもあります。その「はじめの一歩」として9月5日を「情報モラルデー」とし、1時間目に、全校一斉に「情報モラル」について考える授業を行いました。子どもたちは、一生懸命考え、活発に意見を交換しており、実り多い時間となりました。しかしながら、今後タブレットを持ち帰ることで、様々な課題が表出することも考えられます。何かございましたら、学校にご連絡ください。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

さて、今学校では、スポフェスに向けての練習が、佳境を迎えています。今年のスポフェススローガンは、「つなげる」です。創り上げる委員会では、『つなげる』のめあてを「全校・学年・地域の人と自分から進んで声をかけて協力し、仲を深めるスポフェスにする」ということに決めました。そのため、学年競技や応援などで他学年と積極的に関わってみんなで協力したり、自分から進んで声をかけて作戦や応援の仕方について分からないことや難しいことは学年関係なく教え合ったりと、仲を深めるための取り組みを自ら考え、活発に行っています。また、来てくださる地域の方にも、プログラムと一緒に参加していただいたりすることで実現させたい、と張り切っています。久し振りに全校での開催にもなりますので、例年以上の迫力になることは間違いありません。皆様、ぜひご期待ください。